

第6回宍粟市地域福祉のつどい宣言

宍粟市社協では、第3次地域福祉推進計画（愛称：支え合いふくしプラン 平成28年度～平成31年度）を策定し、『だれもが安心して暮らせるふくしのまちづくり ～ “ほっとけない、をほっとかない宍粟に～”』を、今後4年間の地域福祉目標として定め宍粟市の地域福祉を推進しています。

今回のつどいでは、千種町鷹巣の新たな集落活性化の拠点である「たかのす東小学校」を会場に、支え合いふくしプランについて説明を行い、助け合いと支え合いを通じた、“住民主体の地域づくり”について参加者のみなさんといっしょに考えました。

つどいの最後にあたり、今日の議論の内容を「第6回宍粟市地域福祉のつどい宣言」として次の点にまとめ、市民みんなで取り組むことを呼びかけます。

1. 「自治会福祉連絡会」を中心に、福祉でつながる支え合いの地域づくりを進めましょう。
2. 見守りや支援を必要とする人たちを支える「ご近所ボランティア活動」を広げましょう。
3. 地域包括ケアシステムを宍粟市で構築していくために、市民、ボランティア、NPO団体、保健・医療・福祉・介護関係者、行政、社協が共に手をつなぎましょう。
4. 赤い羽根共同募金や善意銀行預託金など、地域福祉を進める活動財源をみんなで創り出しましょう。

平成28年10月1日

第6回宍粟市地域福祉のつどい

